

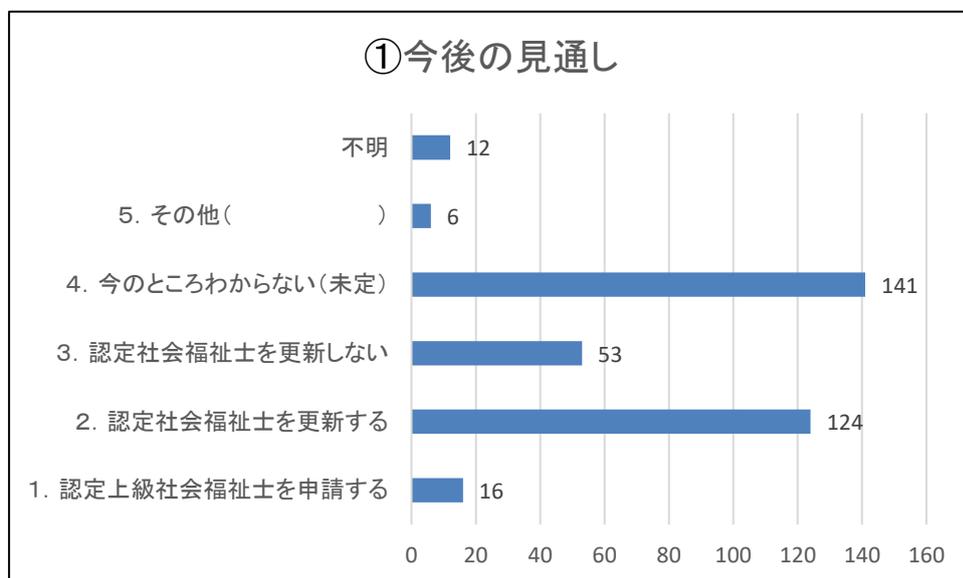
第VI章 認定社会福祉士の認定後の「更新」に対する意識

調査項目の大項目VIについては、①の設問では、現時点で、認定の登録期間が終了した後の更新の可否に対して、どのような意識を持っているかについて確認しました。また、②ではその理由を記述で尋ねました。

VI. 認定の登録期間の終了後のことについて、次の①から②までの項目にお答えください。(該当する項目番号に1つだけ○印)

① 現在の認定の登録期間終了後、あなたはどうしますか。(また、その理由についても次の②の問いでお答えください。)

登録機関の終了後、「更新」するかについては、「今のところわからない(未定)」が141名と最も多く、「認定上級社会福祉士を申請する」としたのは124名と第2位でした。また、「認定社会福祉士を更新しない」とするものも53名ありました。



① 前掲①の問いで回答した理由について、具体的に教えてください。* 記述でお答えください

1	意味を見出せない
2	研修が少なすぎ、又、場所や日程も職場の業務に合わず、足りない
3	社会福祉士の認定制度はまだできたばかり。認定者が増えないとこの先に進めない。多職種と対等に働くためには必要な制度なので頑張って更新するつもりです。
5	自己の質の担保のために取得したものの、職場で全くしたくを生かす機会もなくスーパービジョンを受けることはできても“実施する”状況ではなく、更新の必要性をあまり感じない。名刺にのせるくらいだが、医師、看護師の認定程でもなく、のせるだけ恥ずかしい気もしてきたため更新しようか検討中。
6	更新するにしてもお金（経済的）の負担が大きいから。 ただできれば上級まで目指したい。
7	自分に上級認定社会福祉士の実力が無いと思っている。また期間内に所定の研修単位の取得も困難。
8	更新手続きが複雑で非常にわかりにくい。手間と時間とお金をかけた割には、何の変化もなかった。もう更新に使うエネルギーは無くなってしまいました。
9	スーパービジョンを受けることが困難であるため。
12	更新研修を受けたくても託児所なく、夫や実家の支援を受けられないので、自宅に6歳と2歳の子を残して（放置して）研修に行けない！！この分野の研修等、子育て世代には困難極めてます！
13	更なるスキルアップ、地域貢献を目指したい。
14	専門職として質の向上のため、勉強は必要と感じているが、それが認定社会福祉士の更新や上級を目指すこととつながるのかわからない。認定を取得したメリットが出てこない（診療報酬の位置づけ）と更新しても意味がないと第三者の意見もあり、迷っている。
15	取得のメリットがない。お金がかかりすぎる。子どもが小さく、研修等の時間がとれない。
20	自己実践の足元を固めたい。
21	部下に資格取得へのプレッシャーをかけるため。
22	・社会的な評価が目に見えてくるのはまだ先になるように思うから。・分野が変わり、もう一度更新するための単位取得ができるかわからない。10単位の取り方がわからない。関西方面で単位取得できる学校や研修がない、もしくはどうやって探すのかホームページ上では分かりにくい。別分野への転職があった際は更新のハードルが高すぎる。
23	年齢が75歳を超えている。
24	1、2で迷っています。確実に更新しないと認定を失う恐れがある。上級に関するスキルが備わっていないことを、ある研修にて実感した。検討中です。
25	今後の自己業務において、認定の資格がどのように生かされるのか生かされた

	のかという評価をした上で、次を検討したい。現状では他資源（クライアント・職能団体・他社会資源）の評価は無いため、見通しは悪いと思われます。
26	ソーシャルワーカーの仕事に就いている間は社会福祉士として地域に貢献する必要があると感じるため。
28	同じ分野で働き続けるのか不明だから。
30	研修要件を満たせば申請できるため。
31	転職して分野が変わったので更新が難しい。
32	認定社会福祉士がジェネラリスト・ソーシャルワーカーとしての評価になっていないこと、認定および更新方法の妥当性に疑問があること、社会から評価される制度と思えないことなどから、更新することに意味を見い出すことができない。
33	認定登録後に自己都合で職場退職しました。その後復帰しましたが、更新に必要な単位取得が困難なため次回更新は断念しました。
34	更新に向けて努力することが質の維持につながると考えるため。
35	独立型なので目標は高く、上級を目指します。スーパービジョンの普及と定着が私の使命と感じているので。
36	年齢的なこともあり独立型社福士として自身のことより続く後輩に道を示しておくことが役割と考えているため。
37	更新はしたいが、条件が厳しいように思っているので、実際更新出来る自信はない。正直、更新は難しいと感じている。
39	あまりにも負担が大きい。
40	取得したことをクライアントや地域に伝える機会はほぼないため（評価もさほどなく給与も上がらず）自己満足にすぎない状況ではあるが、専門職として研さんを続けるのは、SW 続ける以上、当然のことであるため。
42	正直のところ上級は目指したいが、自分には無理な要件だと思っている。ただ何の努力もしないで相談支援を続けていくより、明確に認定を更新するという目標を持って仕事に取り組んでいきたいと思うため。
43	上級はよくわからない（方法）。
44	上級申請のための基準をクリアできるかどうかによるのと、メリットが何か十分理解できていないため。
45	少なくとも現時点において、認定を受けたことによって生じた違いは業務上では特にないので、動機づけが難しい。
46	認定資格による業務等の変化はなく、職場内でも評価対象でない。資格評価ではなく実践力を評価される。登録費用の問題、費用負担が大きい。
47	課題をクリアするには受講料などお金がかかるがそれだけの見返りが期待できず、自己満足のためだけのよう気がする。
48	レポートの提出がかなり負担であったため、もう一度できると思えない。費用がかかるうえに持っている「時間とお金のある人の取る資格」と同業種の人にも言われ価値が見いだせない。
49	今後の仕事の広がりについて、いまだ十分展望を持っていない。
50	5年間で更新は難しい（時間が足りない）。大学の専任教員も並行して担っているので“上級”の方が取りやすいと感じている。ただし、申請の必須項目が

	まだ判然としない。
51	手続きが複雑（申請方法とか）でよくわからない。
52	①更新条件をクリアできるか不安である。②取っても何も変わらない（所属社会福祉士会でさえ、評価していない）。
53	現在 62 歳です。事業と研修の両立が難しく考えておりません。
54	現場なので更新しておくことに意味があると思う。上級は考えていない。
56	高い専門性を持って業務を行っている根拠が欲しいから。
57	必要性を感じないから。
58	更新や上級を受けるための対応（受講など）が良くわからない。
59	クライアントのためには研鑽が必要であり、大変ではあるが更新をしようと考えている。
60	必要研修は東京でばかり実施されており、他の地域では研修への参加が保障されていません。地域活動の具体例を示すと HP にありましたが、一向に示されず。福祉士会活動を中心に伝わっていない人は更新しにくいです。
61	認定を受けたことで得られた事、実感できる事がまだよくわかっていない為。（技術、知識 etc.）
63	更新するハードルが高すぎる（特にスーパービジョン）。
64	更新するメリットがあるかどうかによって考えたい。
65	人材育成と MSW の質の向上を実現するための責務だと思っている。
66	更新に必要な研修、研鑽は積んでいくが、年齢的にもあえて更新するかは決めていない。
68	・メリットが感じられない。・手続きが煩雑である。
69	更新をしないと認定制度のスーパーバイザー役ができないため。また上級社会福祉士でないと独立型社会福祉士事務所を公認しないのならば上級を目指したいと考えています。
70	4 今のところ分からない（未定）…現年齢が 82 歳と高齢であり心身共に現在は健全であるが、登録満了年齢が 86 歳となるので、今のところ分からない（未定）。
71	臨床現場で活動しながら受講は難しい。東京在住の方が良いと思うが、地方は受講が難しい。
72	⑤更新予定であるが、研修、スーパービジョンなど問い合わせしないかも。
73	現在の職務に必須ではないため。
74	認定を受けていることによる職場内のメリットがないように感じる。研修のために仕事が休みにくい。
75	認定についての理解がなく、研修、登録料を支払う程には、あまり評価されない。
77	上級は時間、経費とも不可能。都市部、学校教育機関が少ない。
78	今後には期待感はありますが、現状では複雑な心境です。
81	正直まだまだ認定 CSW として実践に取り組まなければならない課題が多いと感じるため、余裕がない。
82	現在 65 歳、年齢を考慮して。

83	更新研修、スーパービジョン費用が予定外に高額になっており、更新継続して いけるか不安あるため。
84	ほとんどメリットを感じないため、同僚、部下にも勧めづらい。
85	常に学んでいかないと時代の変化に対応できないから、仕事を続けていくな ら更新して継続して学び自分自身を高めていたい。
86	自分の障害分野の認定は県内唯一、最初。更に上級取得が可能であれば、この 分野の県下の方向性に関わることを進めていきたい。
88	更新要件に必要な対応ができていない。必要な研修があまり存在しない。SV が受けられる環境ではない。認定を受けても受けなくても何も変わっていな い。
89	認定上級を目指すか認定更新を目指すのかを検討します。
90	異動により医療から地域福祉分野の担当となったため。
91	ポイントの取得、また研修会に参加できていないため。
92	専門職としてスキルアップは当然のことであるが、上級まではいかないため更 新したいと思う。
93	本来なら上級の申請をするところでしょうが、そろそろ定年なので、定年後の 状況によって考えます。
94	認定社会福祉士の更新そのものが、スキルの維持、モチベーションの維持、失 効させない為に学ぶ事も含めて、資質向上の為、研修を受けていきたいと思 うから。
95	認定されても何も変わらないから。
96	分野の追加をしないと更新出来ない。追加のための単位取得のハードルが高 すぎる。そこまでして更新する意味があるように思えない。(現時点)
97	認定社会福祉士制度と個々の社会福祉士の力量、地域や職場で求められている 役割、必ずしも合致していない。
98	実践から離れているため。
99	認定の認知度が低い。また認定を受けた理由に独立型への登録があったが、こ れも現時点では登録の必要性を強く感じないため、今後の更新、上級につい ては未定である。
100	特に恩恵がないため。技術・知識・価値の更新や人脈なども認定と関わりがな くできる。職場からの評価もないため。
101	更新の条件が厳しくクリアすることが出来ない為。
102	更新を前向きに考えているが、単位の取得がスムーズに行くかわからない。
103	職場内のスーパーバイズが主で、直接担当ケースを持っていないため更新でき ない。
104	上級を申請するような機会がない。
105	自己の研鑽のために学ぶ良い機会であるので継続したい。今後の認定社会福祉 士への社会認知がより良く変化することに期待している。
106	職場(包括支援センター)も事務に追われており、更新に向けた受講等が行え ていない状況。
107	上級は更に難しい面があり、まずは更新をきちんとしていくことを考えてい

	る。
108	研修の単位が取れない。全て私費で県外に何度も出ていくことは難しいので、次は厳しいかと思っている。制度に乗って動いていくことが実のある資格につながると思うので、続けていくことは考えたい。
109	認定上級社会福祉士については自分の中で取得の意味が見いだせないのと、実践の中で常に更新要件が満たせない為。(地域の人に対して支援がうまく進まない際、名前負けのイメージだけが残る。研鑽に努めているなら基礎の社福士認定で十分では。)
110	更新は専門性を担保していくために必要であるので。
111	「認定」を持っていても持っていなくても変わらない。自己研鑽は「認定」がなくても行っている。
112	必要な研修を受講することができないため(職場で任う業務量が多く研修等の時間が作れないため)。
113	特に何のにもメリットもなくお金だけかかるので…。更新に必要な研修が小さな子供がいると参加しづらいため単位も難しい。
115	更新できるよう精進の予定だが、更新条件をクリアできるか不明。
116	更新の単位取得のために研修を受けなければいけないので、自分が学びたい研修と一致しない。経済的な面でも研修費用、交通費、登録料など負担が大きい。
118	最低限の責務だと考えているから。
119	メリットを感じないので更新手続きにかかる手間や費用を考えると更新しようとは思わない。
121	上級を申請するほど実績がない。上級をとっても給与が変わるわけでもないし自己満足でしかない。それならまず認定を更新し続けて普及させたい。
123	独立型社会福祉士の要件になっているから。
124	日々の実践をはじめ社会福祉士としての活動もあり時間的に困難であり、かつ、集合研修となると東京で10万円以上費用がかかり、費用的にも困難。先が見えない。
125	VIII②参照。認定医療福祉士をもっているので。
126	更新で精一杯のような気がする。
127	職を替わり養成校教員となったため、実務経験が積み上げられないので。
128	この仕事をしている限り、研鑽は必要と思うからです。
131	このままにしておかず、更に研鑽を積んで質を担保しておきたいため。
132	①対費用効果：資格維持に関わるコストに見合うだけのベネフィットかない。 ②「スーパービジョン」の負担が多い。③資格制度等の会上層部の現場理解のなさに嫌気がさした。
133	とりあえず更新を目指して相当の活動をしていきたい。
134	認定があることは、自分が仕事でスーパービジョンを行っていく上で不可欠とも思うか、更新することの意味づけ、動機づけが少ない。
135	1か2、どちらかはしようと思う。必要条件が不明なところも多いので、2になる可能性は高いと思うが、1を目指したい。
136	認定を受けても自己満足だけで何も変わらない。認定社会福祉士を更新するに

	は大変なハードルはあるけどもメリットは感じられない。
137	家族の介護、子育て支援のため、更新のための研修を受けきれないため。
138	現在退職、妊娠中であるため当面、社会福祉士としての仕事はしない見込み。将来再就職したとしても、ワークライフバランスを考えると、認定を再度目指すことは難しいかもしれないと思う。
139	何げなく認定とれる条件に該当するので、取得してみただけでした。しかし登録して医療系の登録者が多いのにとっても驚いています。SWとは医療だけの専門で活動するものではないはず、自分はそれでは実践を作って示そうと思った。
140	更新するための条件が非常に分かりづらく、正直、何をどの現場で行っていたら更新要件のための単位数として認められるか全くわからない。結局、講師依頼を受けるような、ものすごく経験豊富な人しか要件を満たせないのではないかと思う。
141	・年齢的に職業人生の終盤に来ており、職業上の価値が自分の中で高くなったと判断。・更新までのプロセス実績やヒスイ研修が負担。・更新して認定がついても自己満足でしかないなという気持ちがある。
142	可能であれば供給を目指す気持ちもあるが、まずは認定の更新を確実にしたい。
143	認定を取得したが更新するにあたって、東北地方では研修がほとんどないことと、上級を目指したいと思ったが、今日現在のところスーパービジョン研修を県士会に希望を出したが理由も教えてもらえず、他の人に行かせたいからと伝えられ、認定を更新することにのみ考えなくてはならないと思っております。認定は現在のところ自己研鑽の認定にしかになっていない。(県士会の上役が認定社会福祉士について、どのような理解をしているのか?と思うところがあった。)
144	更新できるだけの単位を得られるか不明なため。
145	まずは認定社会福祉士を更新したい。そしていずれ認定上級社会福祉士取得をチャレンジしたい。
146	スーパービジョンがネックになっている。研修等はいろいろ受けているので、できれば申請したい。
147	独立型としていつまで開業できるかわからない。
148	認定を更新することのメリットがあるか考え中。
149	より専門性を求めると同時に、倫理意識が高まっており、誰の為、何の為に認定を受けるのか、目的が明確になってきている。長い道のりかもしれないが終りが見えない、しかし充実してきている。
151	出来れば更新したいと思っているが、変更後、要件のスーパービジョンや認定された研修受講、定められた実績の研修実績が厳しい。お金や労力、時間をかけても、それへの見返りが全然(殆ど)なく頑張ってる人という評価。職場にメリットがないと、休みやお金の面で援助を受けられず大変。有休も使えないので。更新要件もまだ困難である。ほぼ全員が目指す制度とはまだまだまだ…程遠い。勧められないし、近頃の若者(年に関係なく、新しい社福士にも)は、

	こんなに頑張らないと感じられる。
152	お金と時間をかけて取得した割には全くメリットが無いので更新致しません。合わせて更新要件が現場の第一線で業務に当たっている者としてはハードルが高過ぎる。
153	利点が明確に感じにくい一方、研修等の費用ねん出が厳しいため。
155	更新しない気持ちの方が正直高いです、が迷っています。お金（更新料）もかかるし、自己満足だけ、職能団体の満足だけのような気もするからです。
156	職場においては「パート」なので、組織代表者が務める役割や後進の育成などに携われないから。
157	業務を行う上で必要なことだと認識しているため、上級または更新については、その時までの状況に応じて決めていく。
158	無意味だから。
159	「認定」を意識した実践ではないため、実践知と認定は必ずしもイコールではない。専門分化することは逆機能を引き起こす。
160	今の日常生活を送る上で自分自身のモチベーションを維持したい。（学習の機会をつくる）
161	更新を3回程度して、上級も目指したい。いずれ独立型も視野に入れているので（スーパーバイザーも）更新は確実に受けていきたいと思う。
162	更新に必要な要件を満たせない可能性が高い。
163	更新で精一杯。現場の業務に加え認定取得希望者への個別SV等もあり、時間がない。更新さえ、できないかもしれないと思っている。ましてや上級なんて絶対にムリ。
164	認定社会福祉士（医療分野）と認定医療社会福祉士の更新がリンクしていないため、負担が大きい。（既に認定医療福祉士の更新は終えているが、それをもって今度の認定社会福祉士の更新ができないため）
165	上級を目指すほどのスキルを持ち得ていないから客観的に見て目指す人ではないと思われる人が目指しているので。認定・上級の差別化を図るのは困難ではないかと思うので。
166	更新するための要件を満たす自信がない。
167	職場の中では自分の支援に対し意見を言える立場の人がいないので、定期的に自分が社会福祉士として正しい道を進んでいるか、客観的に振り返り知識・技術を向上していきたい。
168	60代であり今後どこまで実践が続けられるか不明であり、更新が出来るように頑張りたい。
170	更新の要件が自分にとって厳しい。
171	更新のハードルが高い。スーパービジョンは立場上、部下の社会福祉士に行っているが、私自身が個人スーパービジョンを受けられる人がいない。グループスーパービジョンを行っているが…。
172	年齢的にも活躍する場から引退する。

173	もう一度更新しようとは考えているが、スーパービジョンを受ける時間や費用の面で迷っている。
174	現職にありながら（勤務しながら）相当きつかったです。現在も更に業務が忙しく、更新可能な業績が残せるか不安があります。
175	5年間で更新の条件全てをクリアできるのか自信がない。
176	更新の手続きがわかりにくい。費用がかかるが今のところ特別な利点がない。
177	取得までに苦労した割に職場では評価されなかったため。
178	特にメリットを感じない。
180	更新はしない（できない）と思っていたが、成年後見人としての活動が認められるようになったため、定年後の独立を目指し更新したいと考えるようになった。
181	5年で更新できるかどうか。研修に遠方まで行けるか？等。
182	年令上
183	今夜医療ソーシャルワーカーにとって社会福祉士はもっているのが当たり前の時代になった。これまで年月を重ね実践、学習してきた証としては、さらに上級の資格が必須と思っている。
184	実際何に役立っているか明確でない。自身のスキルアップは認定を取らなくてもできる。
185	一応更新しておく。
187	継続する形をつくりたい。一度認定を受けて終了すると本来の目的が薄れてしまう。仕事を続ける限り当然のこと普通のこととなると良いと思う。後進の育成の役割の重要。条件が揃えば上級を目指したい。
188	現時点では更新できるか自信がないため。
189	自己研鑽のため（クライアントに対する責任として）。
190	個人としてのスキルアップを図っていくため、更新を行う。又、周知を図るためにも、更新を行なっていく。
191	行政のため、担当分野が変わってしまうため上級を目指したいが、困難な可能性あり。できれば、自分のこれまで専門にしてきた「障害分野」の登録を目指したいため。
193	頑張っ取ったので更新はしたいが、単位的に不安な所もあり更新できるかわからない。評価もなく更新が辛いと感じる程、1～3年目の課題の多さに疲れしました。よって上級までは望みません。
194	認定更新要件によっては満たさない可能性あり（特にスーパービジョンについて）。
195	正直言って認定社会福祉士と認定医療社会福祉の●分かりづらく、本当に何とかして欲しい。今はSW●の底上げのための辛抱と思い（よく分からないまま）更新するしかないと思っている。
196	まだ未定であるが努力は継続した。
197	本当は上級を目指したいが、現時点ではハードルが高すぎるので、まずは更新を目指したい。
198	更新研修における魅力を感じず、時間と労力、お金をかける意欲がわからない。

199	認定制度については異論を持っていた。しかし登録もせず異論を唱えるのはできないからだと思われると感じ、登録した立場で意見を言おうと思い、そのプロセスを踏んだ。登録して思うのは、様々な社会福祉士がいる。「認定」を前面に掲げている人もいる。しかし自分にとって、この学びは無駄ではなく自身の研鑽の一つになったと感じている。認定の人達が自分を誇示するためにこの資格を有するのではなく、まだまだ学びの場が必要な実践者であることの自覚を持っていかねばならないと思う。なので上級に進みたいと思うが、地方では、なかなか研修を受ける機会もなく実質難しいと感じている。機構にも機会がないことを伝えたが、それを作っていくのがあなた達の役割です、と言われた。
200	・原点回帰するときに倫理綱領を読み直す機会が増えた。・学び続けることの大切さにあらためて気づいた。・人生の転機となった。
201	手続きが煩雑なだけで、状況は全く変わらず、何の影響もないため。
202	継続して研鑽するため。
203	現在 60 歳であるが、70 歳ぐらいまで実践現場の SV をしたい。
204	同じ形で継続し、ソーシャルワーク力を意識して付けていきたい。
205	認定の中に（〇〇分野）とわざわざ分野を限定する時点で、一つ疑問があります。実際私はいま職場内の異動を受け入れた為に、高齢者から子どもや障害者に対応する相手が変わりました。どんな分野でも同じような仕事出来るから「認定」なのではないのか？と思ったりもします。
207	遠方であるため、認定上級社会福祉士申請などに多額の費用を要するため、認定社会福祉士を更新する。
208	独立型社会福祉士事務所開所を検討していたところ、病気を有していることが判明した為、現在、入院手術後引き続き治療に専念しつつ、地域でボランティアをしたいと思っています。高年齢から無理と考えてしまいますが、福祉につきボランティア活動を続けます。
209	更新に必要な項目は現在の私の力量では及ばないので。
210	せっかくだから更新しておこうと思った。
211	迷っているため積極的に更新や上級申請する気になれない。時間、金銭面でも負担もあり。
212	更新したいが、なかなか SV が実施できていない。（個人スーパービジョンの受けること）
213	認定社会福祉士の資格を得ただけで、社会福祉士会の研修修了のハードルが上がり、次のスキルアップの機会を得られなかった。正直、有資格者に対する研修運営側の意図に悪意さえ感じた。
214	・高齢分野で勤務しているかどうか分からない。・近郊で認定を受けた研修が少ないため、更新のための出費が多くなり、本末転倒で疑問がある。
215	少なくとも個人として更新もしくは上級を目指したいと思います。
218	自己満足かなあと。また更新するためには県外で行われる研修等に多数参加しなければならず、家族の犠牲が大きい。メリットが感じられない。研修の講師を担当しても交通費、謝金はなく、時間的には拘束される。

219	更新したいのは山々ですが、私の現状では要件が厳しいです。このことは認定を受ける前から承知していましたが、きちんと学び直して社会福祉士として自信を持って活動していく為に挑戦しました。この機会を与えていただいて感謝しています。提供できる事例が乏しく更新に必要な研修を受講できていませんが、更新の可否に関わりなく一つでも研修を受講し、資質の向上を目指していきたいと希望しています。
220	後輩に道をつくってあげたいから。
221	スーパービジョン等を通して実践(活動)の振り返りを常にしていきたいから。
222	更新し続けることがブラッシュアップになる。
223	認定社会福祉士を取るときに丁度、行政職に転職して全く違う仕事をする事となったため。
224	職場(医療機関)では認定〇〇をとることが、その職種において、より専門的な力量があると評価されていると思っていたが、いざ自分がとってみると、公表するのにためらいがあるが、もう1回は行う予定。
225	手続きが複雑で、まだ更新手続きについて理解出来ていない為。
226	できれば更新したいと考えているが、5年以内に要件クリアできる自信がないため。
227	・更新要件はほぼ満たしているので更新を考えている。(ただ詳細部分で条件確認の必要があるが…) ・本当は上級も目指したいが…。
228	更新のため単位取得ができるか不明なため。
229	せっかく取得したものであるから。
230	認定更新の条件の中で、クリアしにくい部分があり、更新のためにそこをクリアするのもどうかと思うので、また労力をそこにかけて更新することの意味・メリットがなかなか見出せないため。(後輩のためには更新をしていく姿は見せていかないといけないとは思っているが。)
231	社会福祉士そのものがまだまだ評価されず実践家が少ない現状にある。採用時に社会福祉士を取れないと合格できないことになるのも●分野ぐらいです。認定と平行して社会福祉士の実践力をアピールすることも必要です。年齢も60代ですしこれ以上更新する意味がないし料金もかかる。
233	更新の仕方がよくわからない。必要な単位をどのように取得すれば良いか、講義はどこで受ければ良いか、学生ではない自分にはそれが分からない。
234	認定社会福祉士を更新するのも大変だと思いますが、1度は更新を行いたい。
235	定年後、どのような将来設計を考えていけば良いかまだ確定していないことから。
236	上級は大学院後期課程レベルで原著論文の●等は無理な為。
237	独立型社会福祉士のため、業務の質の担保のためには認定社会福祉士であり続けることが必要だと考えているため。
238	後輩を育成する立場にあるため更新は必須と考えている。
241	年齢的に登録期間終了後は60歳超えになるため。
242	未だ認定社会福祉士としての資質、能力、役割を実践できているとは言えないため。
244	自己研鑽の継続。

246	指導的立場にあるため資格保持を継続したい。
247	更新する場合に研修や論文等の作成を計画的に進めていくことが、難しいと感じるため。時間的な面や費用的にも。
248	更新は大変そうだけどチャレンジしてみたい。
249	継続して自己研鑽しているので、できれば認定上級か認定社会福祉士のどちらかに申請をしたい。
250	まずは更新するために研修実践中。上級もいずれ申請したい。
251	上級を目指したいが更新後でないと思えないと理解しているため。
252	しかしながら更新の研修の受講が難しい。資格に将来性を期待する。必要な研修と受講する動機となる。
253	定年退職となり再就職を希望しないため。
254	更新したいが条件に該当しないのではないかと感じている。
255	現在 64 歳であり、現在上級あるいは更新をするための学習をする時間とエネルギーがない。
256	地元の福祉大学で福祉実習（社会福祉士受験取得のための実習）を非常勤講師として担当し 5 年目を迎えるが、以前よりもシステム理論やストレングスなどにも目を向けて適切な支援ができるよう学生にアドバイスできるようになったから。
257	更新したいが現状の業務で必要要件をクリアできる自信がないため。
258	今後も出来る範囲で自己研鑽していく。
260	更新のための研修等がクリアしかねる。中央ばかりなうえに料金設定も高い。日常の業務に加え体力に限界あり。
261	日々の業務をこなすことで精一杯。更新する機会（研修、スーパービジョン）を確保できにくい。専門業務、地域に向けて活動している人が更新しづらい制度設計に難あり、取得しても名乗るだけの資格になっている現状…。
263	認定社会福祉を認定されてからの 5 年間は、その自覚を持って職務や社会に向けて努力する義務があると考えているし、また自信向上したいと考えている。少なくとも更新はしたいと考える。その上で、上級の申請が出来る準備ができる状況があれば、自己の集大成として考えたい。
265	定年が間近かとなるためインセンティブが無い。
266	認定取得後の方が、業務や団体等で求められる役割が増え、更新の条件を物理的にクリアできるか分からないから。
267	更新したいとは思っているが、年齢的に少しくたびれていると言うのが本音である。
269	勉強は続けていきますが、時間と費用がかかるため日頃の業務の状況を見て考えたい。
270	教育機関にも身を置いているため、実践の時間が要件に入ると更新が難しいと考えているから。
271	せっかく苦労して取得した資格なので失効してしまうのはもったいない。しかし、更新要件を見ると難易度が高いので、クリアできるかどうか自信がない。たとえ更新できたとしても、その次の更新はしないつもり。

272	必要な単位をとることができなかったから。
273	ひとまず更新だけは行なっておきたい。（特別研修で認定を受けたため）
274	所属先なしの為。
275	認定社会福祉士を取得したものの、実績が更新するのに満たさないとと思われるため。
276	最初から自分を高めるため、自己満足に近い形で取り組んでいる。仕事が増えたり、給料が上がれば良いが、それはまだ先のこと。いずれ主任ケアマネジャーのように「認定社会福祉士」のみが就ける仕事ができると良い。
277	独立型社会福祉士として登録しているため必須である。
278	更新が自己研鑽に有意義と考えています。
279	更新に必要な課題をこなすことができない。現状では効果（メリット）・意欲以上に負担が大きい。
280	更新にかかる費用（東京・大阪等首都圏外）が確保できそうにない。年齢的にも厳しいと感じる。評価に繋がらないが、自己研鑽の機会としてチャレンジすることを検討している。
281	認定制度の主旨からするとキャリア・ラダーとしての認定制度の意義もあり。認定→上級と進むのが望ましい、と理解しているため。
282	更新するという目標で引き続き研修に参加し、また事例をまとめ省察することにより、実践の質を担保していきたいので。
283	更新または上級に進むことを前提に制度が作られているため、自己研鑽を続け自身の実践力を高めていくことは当然のことであるが、ただ制度が分かりにくく、どのようにしたら更新や上級認定申請が出来るのか、イメージがつかみにくい。
284	今回の認定のための講習や課題の作成を通して、活動の振り返りが学びを得た。しかし、今後更新のための単位取得は、時間的、体力的に負担を感じる。また福祉分野以外に学びたいことがあるため。
285	認定社会福祉士の人数を増やすことで各分野での影響力を持たせるため。
286	更新を希望しているが、現職場の人事の関係でキャリア（実務経験）の継続が満たされてないかもしれないため、間が空くかもしれません。次はSVの準備だったのですが少しあきそうです。
289	上級にチャレンジするかどうか迷い中。
290	取得してもしなくても社会や他の専門職からの評価がないため。知識の担保は今まで個人で研鑽すれば良いかと思う。
291	更新のための研修を受けるのに費用が高くかかる（飛行機代や宿泊費等も必要となる）。年齢的にも無理しなくても良いかなと思っている。
292	現在の活動内容が認定上級社会福祉士に合致することが殆どと思われるため。
293	・手続きが煩雑。・更新要件のハードルが高すぎて満たせない。・苦勞して認定を受けても何も変わらない。・質が高い。
295	スーパーバイズが受けられず更新できない。
296	年齢によるもので現役を終了の可能性がある。
298	更新のハードルが高い。更新による明確な実践力向上が期待できるような研修

	等があるように思えない。実践力向上のためにやっている個人SVなどが更新のシステムにのらない。
299	人事異動により認定社会福祉士を取得した所属とは異なる所へ異動になったことと、今後も異動になる可能性があり、見通しが持ちづらい状況にあります。
301	年齢的なことについても考慮する必要があるが、現在の業務内容・計画から見て、認定社会福祉士を更新する必要があると考えている。
302	労力がかかりすぎる。メリットがなさそう。
303	認定社会福祉士取得したが、周囲の認知度が低く、活かしたり評価されることがない。
304	今回取得までに非常に時間と費用を要した。申請に至るまでに自己の理由以外にタイムラグが発生する要素が多く、更新にかけるエネルギーを考えると今のところ決めかねている。
305	上級にしても更新にしても課題が大きい。
306	更新のためだけの研修を受けることの意味が理解しにくい。職場の処遇は変わらないので。
307	子育て中で単位取得できていないと思うから。
309	まだよく分かっていない為。
310	認定更新のできる研修受講ができるかどうか不明(研修がソーシャルワーカー現場で受講可能なものがあまりにも少ない)。
311	MSW協会の認定も持っているから。
312	認定上級取得の条件をクリアできるのか不安があり、まずは更新し研鑽を深めたい。
313	せっかく取得したので更新したいという考えです。認定を受けたことで常にスキルアップしなければいけない、という意識を持つようになりました。
314	・上級の単位を落とした(15万円かかった)。フォローもない。・自分には資格に資質がないと判断した。・上級はレベルが高すぎる、挫折した。・よくて更新と思う。●会的にも。
315	上級を目指したいと思うが、手続きに対応できれば挑戦したい。
316	認定によるメリットが感じられないから。上級社福士の申請や認定社福士の更新に関する情報が不足しているから。
317	認定を得るために学んだ内容が社会福祉士のみの資格時より知識が深められたので、もう少し実践で確認したいので。
318	認定社会福祉の更新のための労力、資金に見合う収入が望めない。学習する機会を増やしても収入が増えるとは考えられない。自己の実力向上のためには必要と思うが、その結果がともなわない。
319	書面で更新方法を理解するような流れになっているが、なかなか理解しづらい。取得するのにハードルが高い感じがする。それに加えて社会の評価が低い。(全て名称独占ゆえと感じる)
320	生涯研修、現任研修、専門職としての質の向上を目指すことはソーシャルワーカーとして成長し続けるための最低条件だと思うから。しかし更新できるかの自信はありません。
321	できるだけ更新をして実力を着実なものとし、ゆくゆくは上級を目指したいと

	思います。
322	認定上級もチャレンジしたいが今のところは現状維持が精一杯な所である。
323	スーパービジョンの単位取得ができていない。
324	自分自身の課題に対して確実にこなして力にしたいと考えているため、特にキャリアアップを目的にしていない。
325	認定を受けたことについてあまりメリットを感じていないため。認定の前・後で変化をあまり感じない。
326	社会的メリットが少ない。認定者が能力高い、とならない。
327	更新の条件を満たすことができないと思われる為。
328	常に向上心を持っていることは大切ですし、支援者支援を行ううえでは、専門的なスキルがとても重要だと思います。原点回帰を、困難事変に対する中で、都度、必要に応じてできるような、資料などの整理も今後も意識して行い、スキルアップを心掛けていきたいと考えます。
329	上級を目指すべきと考えるが、要件を満たすことが可能か様子見の段階である。
330	現在教育職であり、更新要件を満たすことが（実践の機会が少なく）難しいため。更新したい思いはあります。
332	登録期間の間に認定社会福祉士として認定を受けている意義をどう考えていくか、今のところ結論が出ていないため。
333	更新のためのSVを受けるところまで今の実務量を考えると精一杯であるが、時間をかけて上級を目指したい。
334	せっかく取得したので更新条件にあてはまっていたら手続きをしたい。
335	更新のための条件を見たらハードルが高いため、更新はできない可能性がある。
336	今後ますますの拡大が必要と感ずるため。
338	専門職として専門医等のように、より上級の資格を取得することを目指すべきと考えます。
339	専門職としての質の向上に必要と考えているため。
340	現在、社会・組織の認定～に対する評価は低い、悪い。転職後も現場では、私自身の総合的実践力に対する評価はしてくれているが、組織の採用時、処遇決定の仕組みに全く組み込まれていない為、意味が無い。しかし粘り強く自身の実践力を客観的に評価するスケールとして認められる為のアピールをしたいので。
342	転職し、SW業務でなく運営・管理の業務となったため（事例等の実践の積み上げが困難にて）。
343	居住している地域の関係（都市部から遠く過疎地のため）で、認定上級社会福祉士の取得、また認定社会福祉士更新のための単位取得を得る機会や場所がなく、更新についても不安を感じている。
344	研修も高度な内容を受けられると思いましたが、自分がその研修等で得た知識を倫理に基づき発揮でき、社会の中で社会福祉士の役割が高まればと思うからです。
345	現在児童分野での活動のため。

347	メリットがあまり感じられないため。それよりも自分が高めたスキルの研修に集中する（費用、時間）等が有用であると感じているため。
348	自分自身を含め社会福祉士の専門性向上に寄与するため。
349	上級を目指したいが、研修は行く時間や金銭面での負担が大きすぎる。
350	認定医療社会福祉士と認定社会福祉士の2本立てで更新をしていくことが大変なので、日本社会福祉士会と日本医療社会福祉協会で、一本化して欲しいと切に願っています。そうしないと目指す人、更新、登録者を維持できないと思います。
351	他の職種の資格更新と「二足のわらじ」が時間的に難しくなったから。職場的に認定～よりも必要度が高く（そちらの資格が）やむを得ない。
352	専門職として学び続けることは当然であり、決められた枠組みの中で学ぶことは行いやすいため。